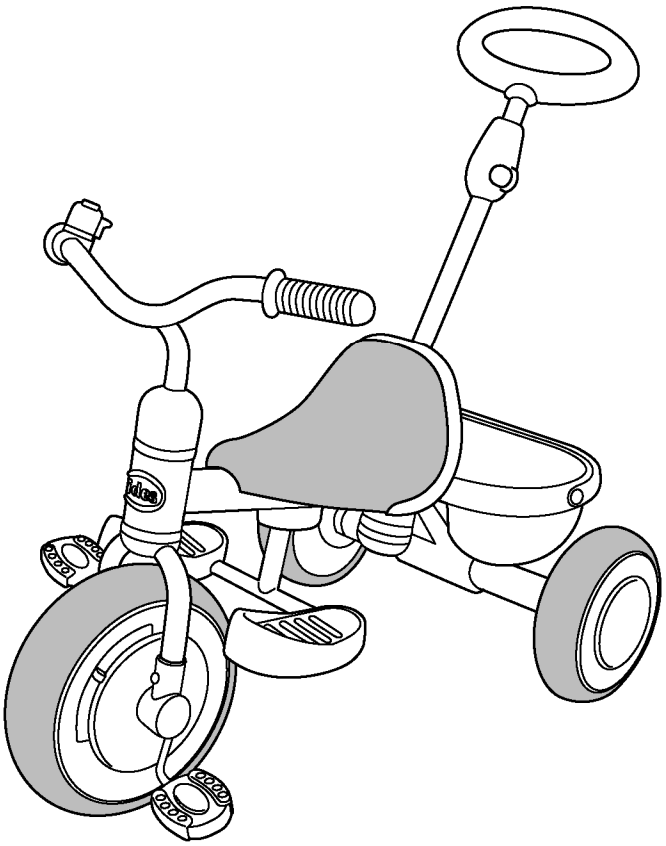
大切なお子様のために正しくお使いください。

かる～くこげる三輪車

取扱説明書



目次

①定義とシンボルマークについて ・・・・・・・・・・・・・P1
②安全上の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・P1
③梱包内容 ・・・・・・・・・・・・・P1
④各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・P2
⑤組み立て方法
●後輪の取り付け・・・・・・・P2
●ハンドルの取り付け・・・・・P3
●コントロールバーの取り付け・P3
●ステップの取り付け・・・・・P3
●バスケットの取り付け・・・・P4
⑥かるっこギアの取り扱い ・・・・・・・・・・・・・P4
⑦コントロールバーの操作 ・・・・・・・・・・・・・P5
⑧ブレーキの取り扱い ・・・・・・・・・・・・・P5
⑨バスケットの取り扱い ・・・・・・・・・・・・・P6
⑩コントロールバーの取り外し方法 ・・・・・・・・・・・・・P6
⑪ステップの取り外し方法 ・・・・・・・・・・・・・P6
品質保証書 ・・・・・・・・・・・・・P7

お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書は必ずお読みいただき安全上の注意事項を良くご理解の上、商品をご使用ください。不適切な取り扱いは事故につながる恐れがあります。また、本書をいつでも参照できるように大切に保管してください。

ides

① 定義とシンボルマークについて

この取扱説明書では以下のような内容が「警告」、「注意」として記載されています。

⚠警告 **身体に関する危険**
守らないと人身事故が発生したり、創傷や火傷の可能性がある。

注 意 **財物や商品本体に関する危険**
守らないと財物や商品本体に損傷の可能性がある。

② 安全上の注意事項

●SGマーク制度は三輪車の欠陥によって発生した人身事故に対する保証制度です。
●この商品はSG基準により安定性、走行性、耐荷重、耐衝撃に合格した商品です。
●ご購入日より二年間の対人賠償責任保険がついていますので、安心してお乗り下さい。
●対象年齢：1.5歳～3歳　適正身長：80cm～100cm

⚠警告

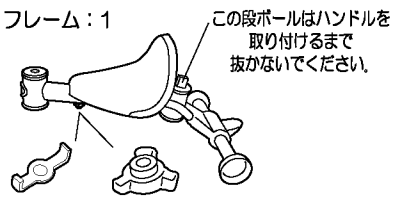
●初めて乗るお子様は、保護者が使用上の注意を指導し、保護者の下で遊ばせてください。
●お子様の足は地面およびペダルまたはステップに確実につくことを確認してから使用してください。
●坂道での使用は、避けてください。
●交通の頻繁な道路、車両交通の多い場所では使用しないでください。
●2人乗りなどの危ない乗り方は絶対しないでください。
●車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないでください。
●斜面および段差のある場所、転落の恐れのある場所では乗らないでください。
●三輪車は構造上、ハンドルを切ったとき、ペダルを踏み込んだときに転倒することがあるので注意してください。
●幼児の足がペダルにのっている場合、コントロールバーの操作で無理な力を加えないでください。
●コントロールバーで操作する際は過度の荷重をかけたり、急な操作はしないでください。
●幼児、子供にコントロールバーを操作させないでください。
●コントロールバーとステップは自走できない幼児のための補助具です。自走できるようになりましたら必ずコントロールバーとステップは取り外してください。
●コントロールバーの操作は必ず保護者が行い、幼児の足が巻き込まれない様に注意してください。
●コントロールバーを付けた状態で使用するときは、必ずステップを使用し、かるっこギアをフリーの状態にしてください。
●お子様がサドルに立ち上がらないように注意してください。また、コントロールバーに寄りかかると倒れる恐れがありますので十分に注意してください。
●コントロールバーに物をかけたりすると倒れる恐れがあるので、物をかけないでください。
●業務用・団体用で使用しないでください。
●三輪車以外の目的では使用しないでください。
●小さな部品があり、誤飲の危険があります。組み立てや部品の取り外し作業はお子様がそばにいない状態で行ってください。

注 意

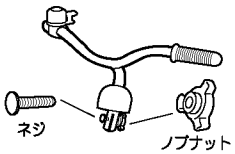
●使用前には必ず手入れ、点検を行ってください。故障および破損したまま使用しないでください。
●長い間の使用でネジがゆるむことがあります。お手数でも締め直してください。
●屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしないでください。
●火気のある所、高温の場所には近づけないでください。
●砂場や水たまりで使用しないでください。

※本書には上記以外にも各操作に応じた「警告」「注意」が表記してありますので、そちらもお読み下さい。

③ 梱包内容

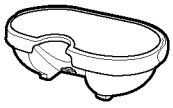


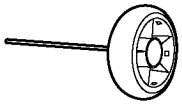
前輪：1

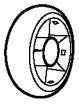


ハンドル
ベル付き：1

コントロールバー：1


バスケット：1

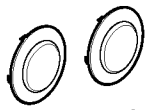

シャフト付き後輪：1


後輪：1

すべり止め付き
ステップ：1

取扱説明書：1

袋入り

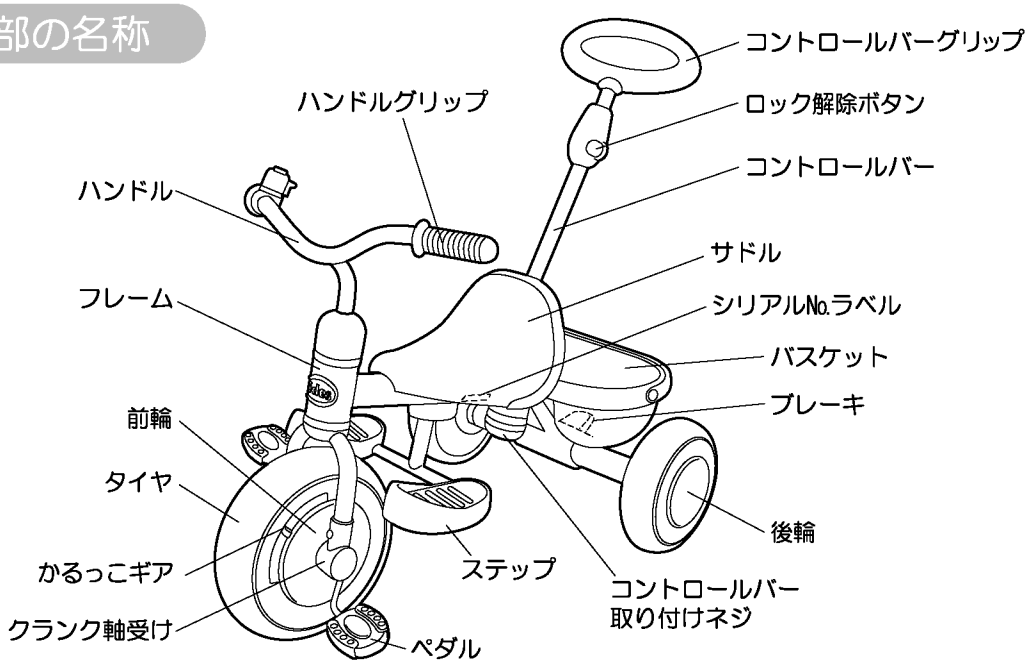

ホイールキャップ：2

フォークキャップ：1

ストッパー：1

取り付け工具：1

④ 各部の名称

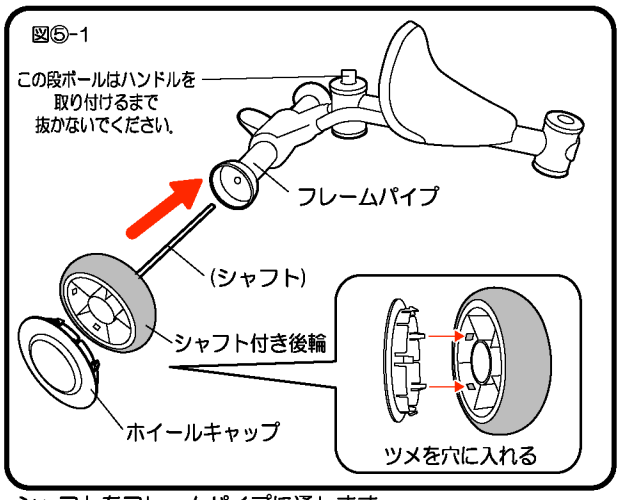


【材質】

- ・フレーム ： スチール
- ・ハンドル ： スチール
- ・コントロールバー ： スチール
- ・コントロールバーグリップ ： ポリプロピレン（PP）
- ・バスケット ： ポリプロピレン（PP）
- ・前輪/後輪 ： ポリプロピレン（PP）
- ・クランク軸受け ： ポリプロピレン（PP）
- ・ステップ ： ポリプロピレン（PP）
- ・ペダル ： ポリプロピレン（PP）
- ・サドル ： ポリウレタン（PU）
- ・ロック解除ボタン ： アクリロニトリルブタジエンスチレン(ABS)
- ・ハンドルグリップ ： 熱可塑性エラストマー（TPE）
- ・タイヤ ： エチレン酢酸ビニル共重合体（EVA）

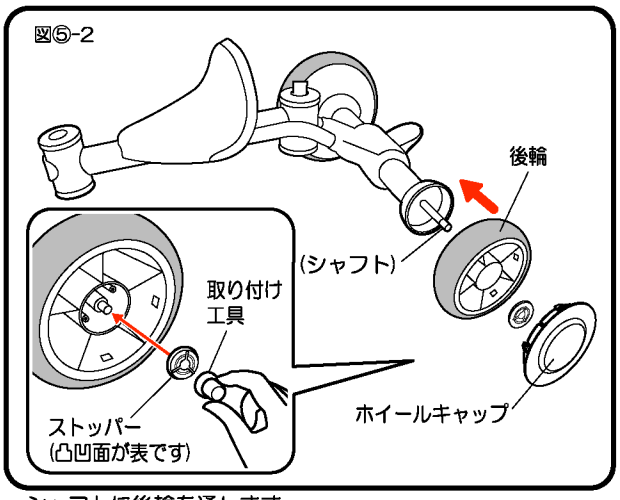
⑤ 組み立て方法

●シャフト付き後輪の取り付け



・シャフトをフレームパイプに通します。
・シャフト付き後輪にホイールキャップをはめ込みます。
ホイールキャップのツメを後輪内側の穴に入れるようにして
はめ込んでください。

●後輪の取り付け

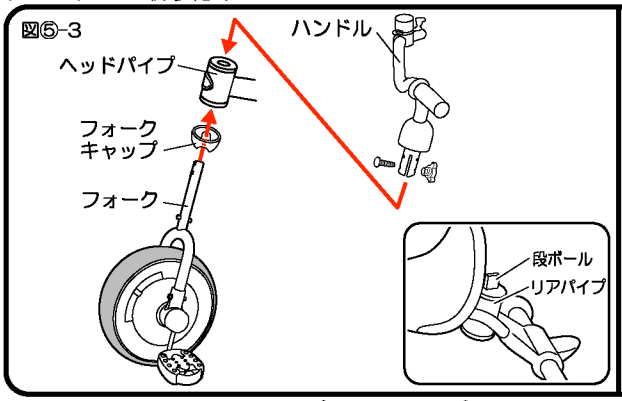


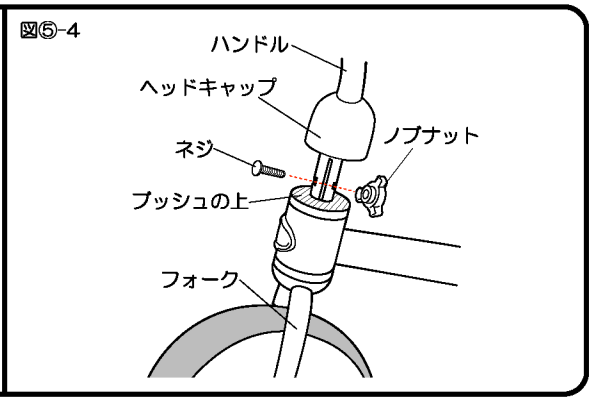
・シャフトに後輪を通します。
・取り付け工具を使用してストッパーで固定します。
・後輪取り付け確認後、ホイールキャップをはめ込みます。(取
り付け工具はストッパーを固定したら不要となりますので、
ホイールキャップの中に入れないでください。)

注 意

●ストッパー取り付け後、後輪を引っ張り、フレームから外れないことを確認してください。
●ストッパーは、一度取り付けると外すことができませんのでご注意ください。

●ハンドルの取り付け



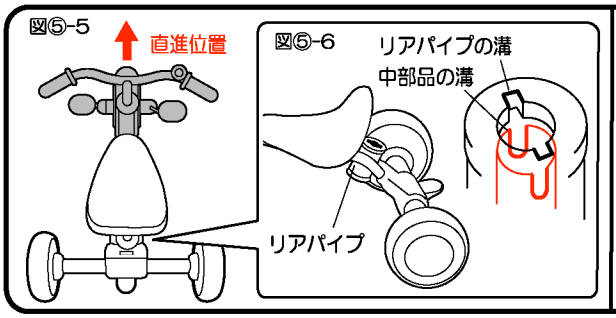


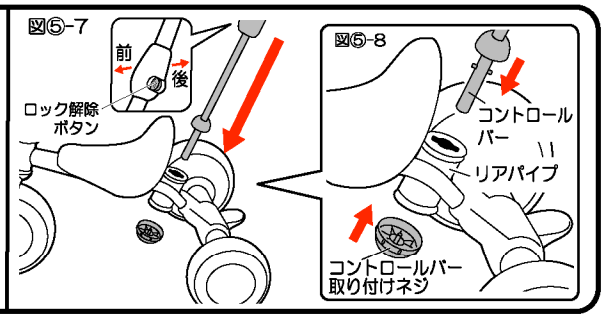
・フォークをフォークキャップとヘッドパイプに通し、上からハンドルを差し込みます。
（この作業が終わるまでフレーム後ろのリアパイプにささっている段ボールは抜かないでください。
ハンドル取り付け後、段ボールを抜いてください。）

・フォークの穴とハンドルの穴を合わせ、ネジを通しノブナットで締め付け固定します。ヘッドキャップを上からかぶせます。
※ネジが入りにくい場合は・・・
ネジ穴があっていないことが考えられます。ブッシュの上を軽くたたくとネジ穴が合い、ネジが挿入できます。

注 意 ハンドル取り付けのネジとノブナットはしっかり締め付けてください。

●コントロールバーの取り付け

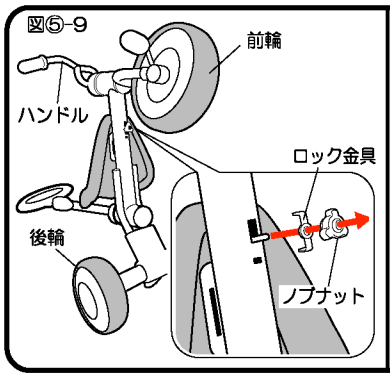


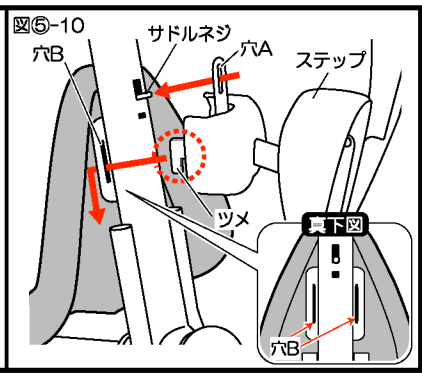


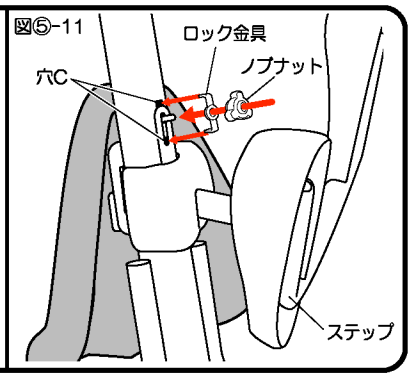
・ハンドルを直進位置（左右曲げない）にして、リアパイプの溝と中部品の溝が合っていることを確認してください。溝がズレているとコントロールバーが入りませんのでご注意ください。（ハンドルと中部品は連動して動きますので、中部品の溝がズレている時はハンドルを動かしてください。）

・ロック解除ボタンがある方を前にして、コントロールバーをリアパイプに差し込み、コントロールバー取り付けネジで締め付け固定します。（ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーはリアパイプに挿入できません。）

●ステップの取り付け



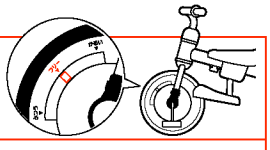




・サドルの下に付いているノブナットとロック金具を外します。

・矢印のとおり、穴Aにサドルネジを通しステップのツメを穴Bに入れ後ろへずらし引っ掛けます。（穴Bはフレームの両側にあります）

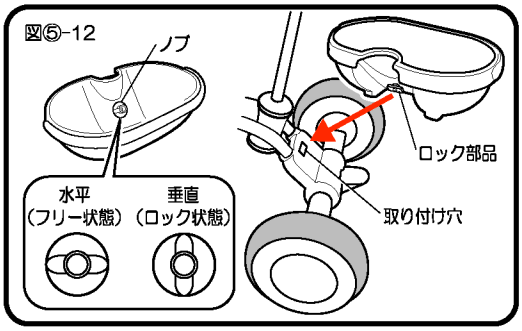
・ロック金具の先端が穴Cに入るように取り付け、ノブナットで締め付け固定します。



必ず確認してください。
ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のかるっこギアを「フリー」にしてください。「かるい」もしくは「ふつう」にしたまま使用するとペダルがステップにあたり、ステップが破損する恐れがあります。

注 意
- ●ステップは自走できない幼児の為の補助具です。自走できるようになったら必ず外してください。
- ●ステップの上に立たないでください。ステップは乗り降りするときの踏み台にしないでください。
- ●ステップの取り付けはノブナットでしっかり固定してください。

●バスケットの取り付け

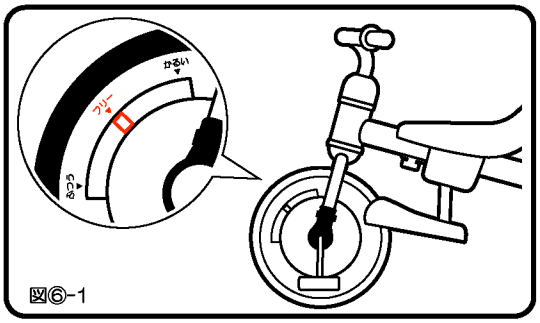


・バスケット内側のノブを水平にします。バスケット裏側のロック部品を本体の取り付け穴に入れます。ノブを90度回転させ垂直にし、ロックします。

注意 ●バスケット取り付け後、バスケットを軽く引っ張り外れないことを確認してください。

⑥ かるっこギアの取り扱い

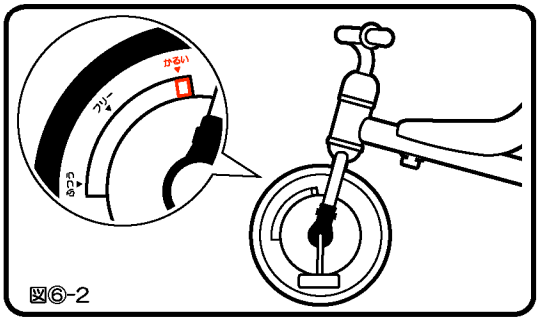
●「フリー」状態



・お子様がステップを使用し、保護者の方がコントロールバーで押す場合はレバーを「フリー」に合わせてください。

（レバーを「フリー」にすると・・・
タイヤとペダルが連動しません。
保護者の方がコントロールバーの操作を行ってもお子様の足を巻き込むことはありません。）

●「かるい」状態

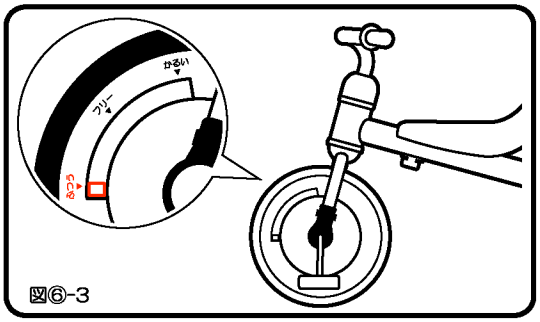


・お子様の足がペダルに届くようになり、ペダルをこいで使用する場合は、レバーを「かるい」に合わせてください。

（レバーを「かるい」にすると・・・
従来の三輪車の半分の力でこげます。初めてのお子様もこぎやすいので、身体能力やバランス感覚が低年齢から身に付きます。
（進む速さは「ふつう」状態の半分になります。あまり進んで行ってほしくない時にも便利です。）

「かるい」機能は三輪車をなかなかこげないお子様のために、アイデスが開発した新機能です。（特許申請中）

●「ふつう」状態



・お子様が「かるい」でこげるようになった場合は、レバーを「ふつう」に合わせてください。

（レバーを「ふつう」にすると・・・
従来の三輪車になります。「かるい」状態よりも重い力でこぐので、さらに足腰の力を養うことができます。
（進む速さは「かるい」状態の2倍になります。）

必ず確認してください。 ステップを取り付けてご使用の際は、必ず前輪のかるっこギアを「フリー」にしてください。「かるい」もしくは「ふつう」でご使用の際は、必ずステップを取り外してください。（ステップの取り外し方は6ページ図⑪-1～3をご参照ください。）

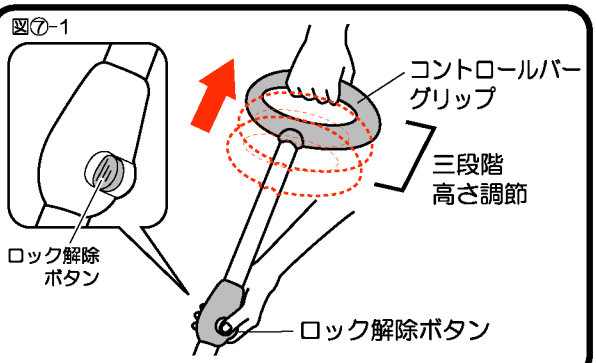
⚠警告
- ●「かるい」もしくは「ふつう」の状態でコントロールバーの操作はしないでください。お子様の足を巻き込む恐れがあります。
- ●お子様が三輪車に乗った状態でのかるっこギアの切り替えは危険です。お子様を三輪車から降ろして、切り替え操作を行ってください。
- ●坂道での使用は三輪車が自然に動き出すことがあるので避けてください。

注意
- ●かるっこギアの切り替えは、保護者が行ってください。
- ●ご使用になる前は、必ずレバーの位置がご使用の目的と合っているか確認を行ってください。
- ●水たまりでの使用や雨ざらしでの保管は避けてください。前輪に水がたまる可能性があり、故障の原因になります。

⑦ コントロールバーの操作

●コントロールバーの上げ方

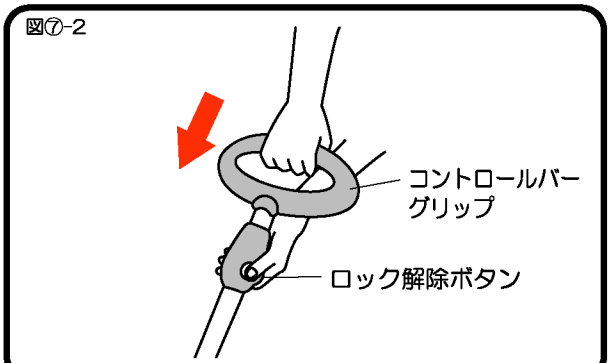
図⑦-1



・ロック解除ボタンを押して（左右どちらか一方）コントロールバーグリップを矢印の方向へ引き、ボタンから指を離し、固定されるまで引き上げてください。高さは三段階に調節できます。

●コントロールバーの下げ方

図⑦-2

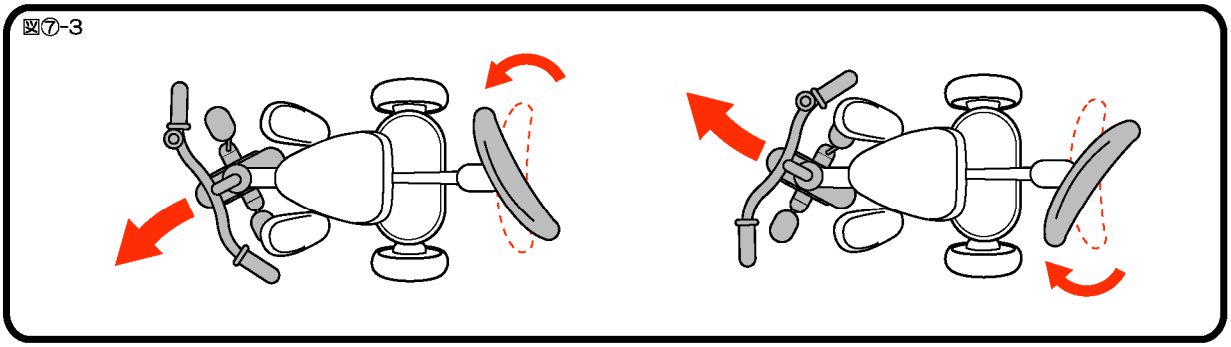


・ロック解除ボタンを押してコントロールバーグリップを矢印の方向へ押し下げ、ボタンから指を離し、固定されるまで押し下げてください。

注 意 ●コントロールバーを上下させる際は、滑り落ちないようにグリップをしっかり持ちながら、ロックを解除してください。

●コントロールバーで曲がるときの方法

図⑦-3

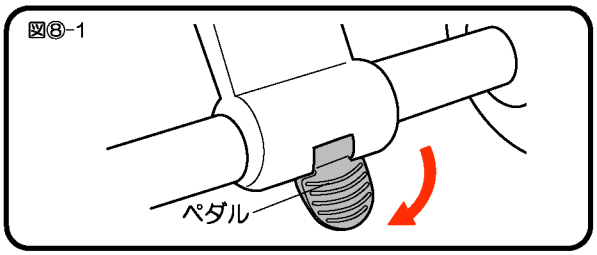


・左に曲がる場合はコントロールバーを左に切ります。右に曲がる場合はコントロールバーを右に切ります。

注 意
●コントロールバーをご使用の際は、前輪のかるっこギアをフリー状態(4ページ図⑥-1フリー状態 参照)にしてください。
●コントロールバーのグリップ部分に荷物などを乗せたり、下げたりしないでください。
●段差のある場所でのご使用は避けてください。また、壁などにぶつけないでください。

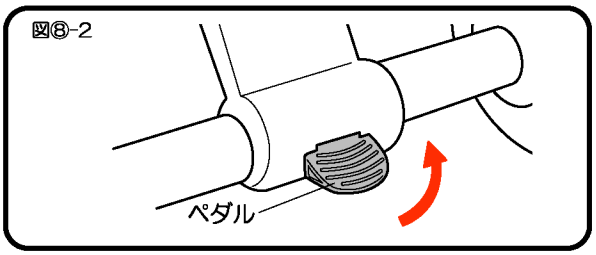
⑧ ブレーキの取り扱い

図⑧-1



・ブレーキをかけたいときはペダルを下げてください。

図⑧-2

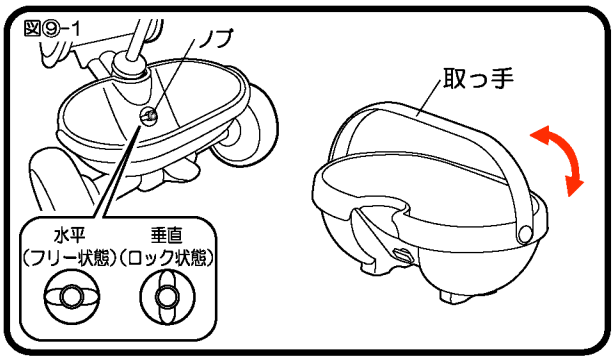


・ブレーキを解除したいときはペダルを上げてください。

⚠警告
●三輪車の走行中にブレーキをかけないでください。転倒や故障の原因になります。
ブレーキの操作は必ず停止した状態で行ってください。
●お子様を三輪車に乗せたときはブレーキを過信しないでください。ブレーキをかけても動き出す恐れがあります。

注 意
●ペダルの上げ下げは保護者の方が行ってください。
●三輪車を動かす前に必ず、ブレーキが解除されていることを確認してください。
ブレーキをかけたまま走行すると故障の原因になります。

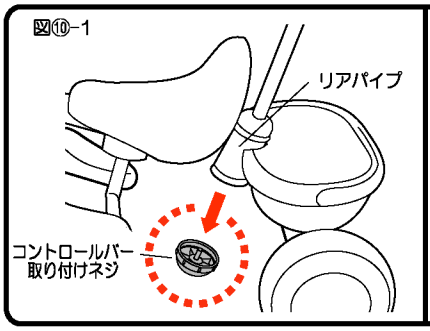
⑨ バスケットの取り扱い



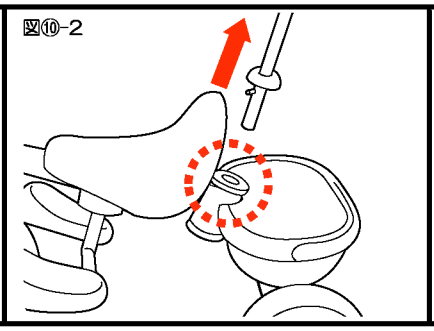
・バスケット内側のノブを水平にし、バスケットを本体から取り外します。
・取っ手を水平まで持ち上げて使用してください。
取り付ける際は4ページ図⑤-12をご参照ください。

注 意
- ●バスケットを三輪車に取り付けた状態で取っ手を持たないでください。破損の原因になります。
- ●バスケットの耐荷重は3kgです。

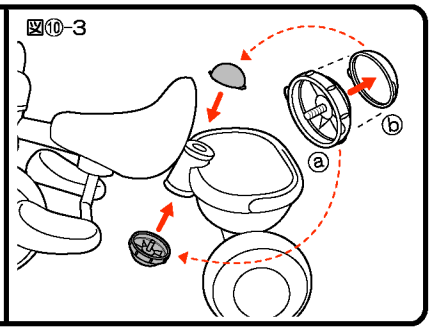
⑩ コントロールバーの取り外し方法



・コントロールバー取り付けネジをリアパイプから外します。



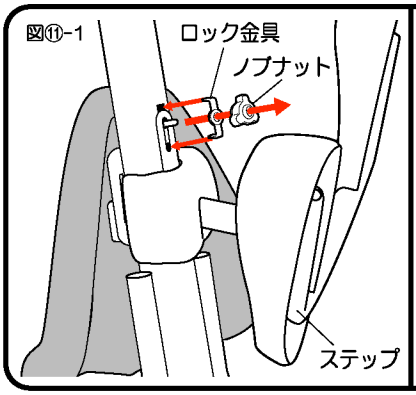
・ハンドルを直進位置（左右に曲げない）にして、コントロールバーをリアパイプから引き抜きます。ハンドルを直進位置にしないとコントロールバーは抜けません。



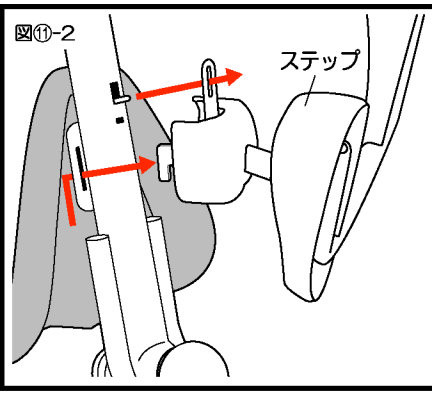
・コントロールバー取り付けネジをⓐとⓑに分離し、ⓐはリアパイプの下に取り付けⓑはリアパイプの上に取り付けてください。

⚠警告
注 意
- ●コントロールバーを外した後は必ずⓐⓑ部品を取り付けてからご使用ください。ⓐⓑ部品を取り付けずに使用するとケガをする恐れがあります。
- ●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。部品をふりまわすなどして思わぬケガの原因になります。
- ●ⓐⓑ部品の取り付け、取り外しは保護者の方が行ってください。

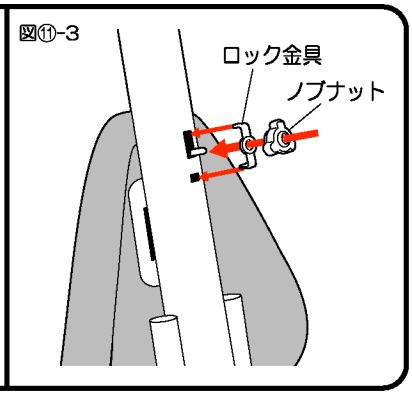
⑪ ステップの取り外し方法



・サドル裏面のノブナットとロック金具を外します。



・ステップを矢印のとおり、前へずらしてから外します。



・ロック金具の先端が穴に入るように取り付け、ノブナットで締め付け固定します。

⚠警告
注 意
- ●取り外した部品は、お子様の手の届かないところに保管してください。部品をふりまわすなどして思わぬケガの原因になります。
- ●ノブナットはしっかりと締め付けてください。